

平成15年度特別展
(2003年度)

山寺の聖たち

—その信仰と物語—

4月26日(土)～6月1日(日)



性空上人像(伝増賀上人像) (談山神社)

吹田市立博物館

■講演会

●4月29日(祝) 午後2時 当館講座室

「法道仙人と性空上人—ゆかりの仏像をたずねて—」

講師 兵庫県立歴史博物館 学芸課長 神戸佳文氏

●5月18日(日) 午後2時 当館講座室

「社寺縁起絵の展開」

講師 京都国立博物館 企画室長 若杉準治氏

※聴講無料 定員120名

■展示解説

●5月10日(土) 午後2時 特別展示室

※展示解説には観覧料が必要となります

●開館時間／午前9時30分～午後5時

●休館日／5月6日・12日・19日・26日

●観覧料／大人500円(400円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生100円(80円)、

()内は20名以上の団体割引料金

※市内高齢者は半額

毎週土曜日は市内小・中学生は無料

大阪府吹田市岸部北4丁目10番1号 TEL06(6338)5500
<http://www.suitahaku.hokusetu.ed.jp>

(2003年度)
平成15年度特別展

山寺の聖たち

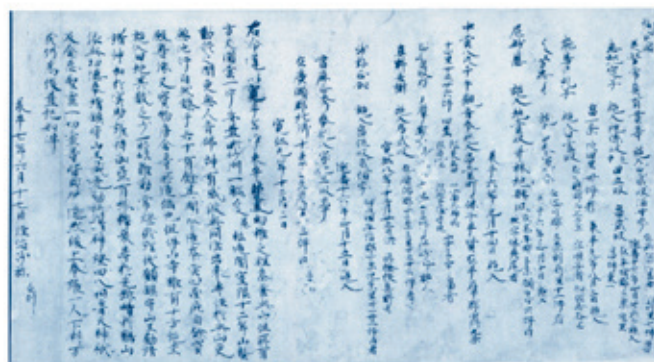
—その信仰と物語—

聖とは、教団から離れて民間で布教活動を行い、多くの人々から崇敬された僧侶をいいます。聖の活動が顕著にあらわれてくるのは十世紀のことです。聖たちは、身分をこえて多くの人々の心を捉え、後に説話や寺院縁起のなかでさまざまな伝承をともなう語られていきました。

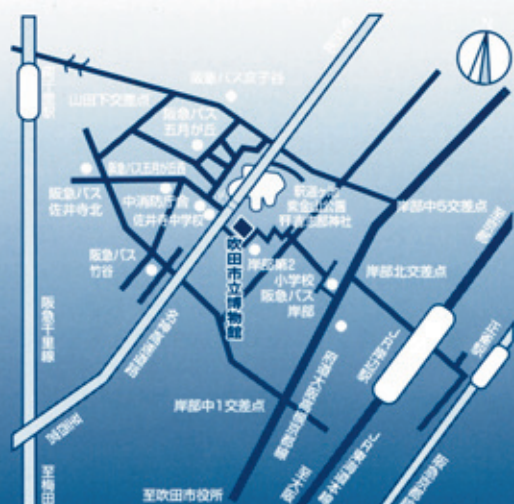
今回の展示では、十世紀を中心に畿内とその周辺地方で活躍した聖に焦点をあてています。大和国信貴山の命蓮、播磨国書写山の性空、大和国多武峰の増賀、摂津国成合山の千観の四人の聖と、播磨国の山寺を中心に数多くの開創伝承をもつ法道仙人をとりあげ、美術作品や文献史料をとおして紹介いたします。千年にわたって語り継がれてきた聖たをめぐる信仰と物語の世界を鑑賞いただければ幸いです。



法道仙人立像(岩屋寺)



信貴山資財宝物帳(朝護孫子寺)



<交通案内>

- JR岸辺駅下車徒歩25分
- JR吹田駅・阪急吹田駅から
桃山台駅前ゆき、山田榎切山ゆきバス「佐井寺北」下車徒歩10分
千里中央ゆき、阪急山田ゆきバス「岸部」下車徒歩10分
- JR吹田北口から
五月が丘南ゆきバス「五月が丘西」下車徒歩7分
- 阪急南千里駅から
JR吹田ゆきバス②、③系統「佐井寺北」下車徒歩10分